

令和４年度県立都市公園管理運営検討委員会における意見等への対応状況

【御所湖広域公園】

委員からの意見	検討委員会時における指定管理者の回答	現在の状況
<p>岩手県交通の路線バス鶯宿温泉線が廃止になった。観光客の中には、つなぎ温泉に宿泊し、レンタサイクルを利用して御所湖広域公園、手づくり村、小岩井農場を巡る方がいる。自転車がない方は鶯宿温泉線の路線バスで町場園地、ファミリーランド、乗物広場を訪問するケースがあると聞いている。バス路線が無くなったことから、利便性を確保するため、広域公園と連携しながら、送迎車を用意して、例えば、訪問の前日までにいきたい方を募集し、巡回していただく等の対策を考えていけないものか。</p>	—	<p>３大園地への路線バスが廃止され、観光客（特に県外）からの問い合わせが多い。内容は公園までの交通手段を確認されるが、「路線バスは盛岡繋温泉までです。自家用車（レンタカー）等でお越しください。」と伝えている。交通手段の重要性は感じています。</p> <p>引き続き公共交通の必要性を各方面に働きかけながら、県と協議の上、対策を検討していきたい。</p>
<p>冬季間はトイレが使用できないが、利用者の利便性を考慮して冬季間でもトイレ使用ができるよう（またはトイレが使用できない期間を減らす）配慮願いたい。経費を要するが、将来的に水落としのないトイレが整備されればよい。</p>	<p>現時点でトイレの構造自体が冬季に対応していないことから、了承願いたい。</p>	<p>公園の供用期間は４月～１１月のため冬季は閉鎖している。冬季運用コストを確認して検討中である。</p> <p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間凍結防止改修工事見積（凍結防止器、パネルヒーター更新等） ・トイレ清掃委託・備品補充等の経費 ・南園地駐車場の除雪（除雪委託費等） ・電気・水道料金 ・年末年始他休日対応費用（冬季は年末年始・土日祝休日のため） <p>冬期運用にあたっては近隣施設の協力も不可欠と考えている。</p>

<p>有害鳥獣への対応に関し、工夫した取組みはどうなっているか。</p>	<p>数年前、県環境保健研究センターの発信機を付けたクマがたまたま公園の廻りに存在していることが分かった。その結果、調査していただいた2年間は周辺の草刈の回数を増やしていただけた。下草刈の追加ができると園内の見通しが良い状況になることから、クマもイノシシも出にくくなる。</p>	<p>イノシシの対策としては昨年に引き続き雫石町農林課に相談し対応を検討しワナを設置してもらった。</p> <p>町場地区から除・矢櫃地区にかけてクマの目撃情報が多くあり、開園前の時間に爆竹を鳴らす等の対応を実施。</p> <p>町場地区園地では周囲フェンスの隙間からイノシシが侵入することがあり、花壇や広場を荒らすため、既存の柵に侵入防止の針金や、ネットを張り、侵入防止効果を確認している。効果が確認できればファミリーランド、乗り物広場等でも対策を実施していく。</p>
<p>アクティビティについて、テニスが5年前と同じくらい伸びてきている。若い人たちはスポーツの取組が減っているなど感じていましたが、増やしている取組はあるのか。</p>	<p>今シーズン途中からネット予約を始めたこともあり、増加していると考えている。</p>	<p>ネット予約では空き状況がリアルタイムで判り、予約の隙間が少なくなっている。</p> <p>若年層はネット予約、シニアは電話予約など併用してアクティビティの予約が増加している。テニスコートは週末予約いっぱいになる事が多く、新たなコートの増設(屋内施設であれば冬期間の使用が可能)や、壁打ち施設の新設などの要望がある。</p>
<p>ニューヨークタイムス紙の影響があり、盛岡が注目されているが、観光客を意識した情報発信をされているのか。</p>	<p>観光地としての集客については特に意識していない。その理由として、土日はほとんど満杯状態で、これ以上利用者が増加すると対応できない状況にもある。平日の利用は、観光客よりは地元が主となっている。情報発信は、地元・観光客の双方をターゲットに行っている。</p> <p>なお、スマートフォンでも閲覧しやすいように1月4日からホームページを刷新した。</p>	<p>令和5年はSNS(X、Instagram)で延べ212回発信、イベント情報や花・公園の風景などを主に発信している。花畑や御所湖の風景(岩手山)などが特に好評である。御所湖広域公園を知ってもらえる発信を目指している。</p>